福島第一原子力発電所　高温焼却炉建屋内における堰内漏えいについて

＜ 参 考 資 料 ＞
2016年3月24日
東京電力株式会社

［概要］

- 日時：2016年3月23日
- 漏えい場所：高温焼却炉建屋北側エリアの配管切断箇所
- 状況：

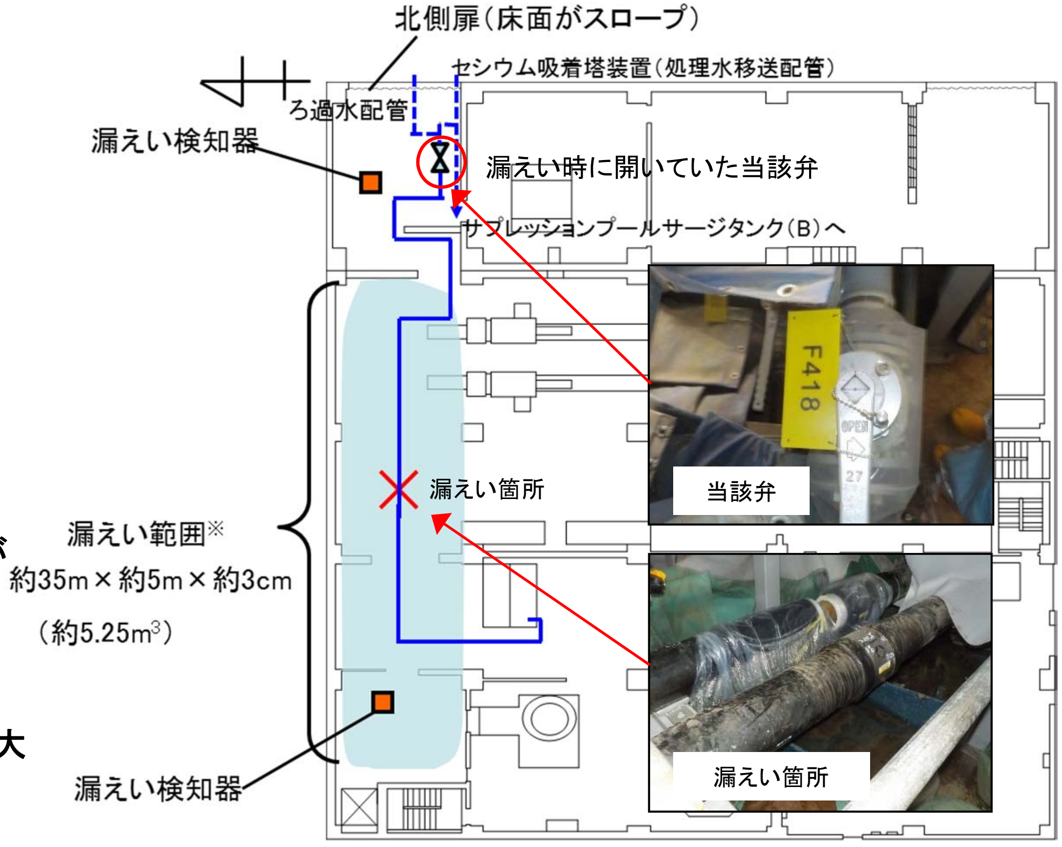
7：30頃　配管切断作業のため系統隔離する弁を作業員が閉確認。
8：00頃　当該配管（ポリエチレン管）切断開始。
9：30頃　配管切断部からの残水が切れたことを確認。
10：00頃　配管を切断し、開口部をビニールで養生。
11：43　セシウム吸着装置起動。
11：51　セシウム吸着装置の処理水の移送を開始。
11：52　漏えい検知器の警報発生を確認。
12：20頃　配管の切断箇所より漏えいしていることを作業員が確認。
13：00前　弁が全開であることを確認し、当社社員が閉操作を実施。
17：22～20：55　漏えい水回収完了

- 漏えい量：約5.25m³（約35m×約5mの範囲に最大3cm程度の水が漏えい）
- 漏えいした水のサンプリング

Cs134：6.3×10^4 [Bq/リットル]
Cs137：3.2×10^5 [Bq/リットル]
全β　：4.8×10^5 [Bq/リットル]

- 推定原因：
セシウム吸着装置に接続されている配管（工事中のため切断された状態）の上流に設置されている弁が開いている状態でセシウム吸着装置を起動したため、当該系統の内包水が流出したものと推定。

- 漏えい範囲図



高温焼却炉建屋1階

撮影日：2016年3月23日
撮影者：東京電力株式会社